



学校法人聖經学園

日本聖書神学校

日本基督教団認可神学校



学校案内 2025

Japan Biblical Theological Seminary

基本理念

日本聖書神学校は福音主義キリスト教の立場に立ち、主の教会の委託を受けて、聖書に基づき、深い信仰と、誠実かつ熱心な神学研鑽、歴史的現実への洞察と他者に共感できる感性を兼ね備えた、福音宣教への召命に応えようとする伝道者を養成することを目的としています。

献身の志を与えられた皆さんへ

「主の霊がわたしの上におられる。貧しい人に福音を告げ知らせるために、主がわたしに油を注がれたからである。主がわたしを遣わされたのは、捕らわれている人に解放を、目の見えない人に視力の回復を告げ、圧迫されている人を自由にし、主の恵みの年を告げるためである。」(ルカによる福音書 4 章 18 ～ 19 節)この聖句は、ガリラヤで伝道を開始されたイエス・キリストが預言者イザヤの言葉を引用されつつ語られた福音宣教への招きの言葉です。日本聖書神学校創立の歴史的背景には、第二次世界大戦によって廃墟と化した日本と言う大変厳しい現実があったのであり、そうした虚無的な状況にあって先人たちが神学校創立の決断をしたのには明確な理由がありました。それは、福音を宣べ伝えると言う福音宣教の働きにのみ真の希望を見ることが出来たからです。

爾来日本聖書神学校は、キリストの十字架と復活の信仰にかたく立ちつつ、福音宣教への主の御招きに応える努力を続ける中で、諸教会における礼拝・伝道・牧会・教育への責任を十分に果たす伝道者、また今日の社会の只中であって示された課題に対して隣人と共に取り組み、主の御心に適った奉仕の業を誠実に果たすことの出来る伝道者を養成して来ました。そして、創立以来大切にされて来た基本理念に常に立ち返りつつ、これからも伝道者養成と言う光栄ある務めを主の励ましと導きとがあることを信じつつ続けて参ります。

日本聖書神学校は、日本基督教団の6つの教師養成機関の中でも特に昼間働き夜学ぶことの出来る唯一の教団認可神学校です。1946年の創立以来78年を経過した日本聖書神学校は、これまでに770名の伝道者を輩出しており、卒業後は国内外の教会・伝道所に派遣されて福音宣教の働きに従事しています。

全世界の全ての地、とりわけ日本の福音宣教のために日本聖書神学校が豊かに用いられ、諸教会・伝道所において献身の志を与えられた多くの方々が本校に入学し霊性の涵養と神学的研鑽とを希望をもって経験されますことを、主の執り成しを祈りつつ待っています。

校長 神保 望

神保 望 校長 (実践神学)

担当科目：ピーベルクンデ、
宣教学、ほか



福音とはイエス・キリストによる神の救済の出来事であり、教会は全ての人々に福音を宣べ伝えるよう、キリストから委託されています。ですから宣教学の授業は教会に委託された福音宣教の意味を理解し、過去を検証しつつ実践して行く上で不可欠な学びとなります。宣教者への備えとしての学びを、一緒に深めて参りましょう。

教員からの ひとこと

荒瀬牧彦 教授 (実践神学)

担当科目：礼拝学、
教会音楽、ほか



礼拝は、ある意味、歴史と信仰と現在の生が結集するところであり、同時に、終末の祝宴の先取りです。礼拝においてわたしたちは繰り返し新しい人間とされていきます。広い視野と深い識見を持つ礼拝計画者、司式者、説教者、牧会者となっていくために学びましょう。「礼拝から神学する」喜びを共に！

細井茂徳 教授 (組織神学)

担当科目：組織神学、
キリスト教教理史、ほか



信仰はただ自分が信じていればそれで良いのではなく、聖書に基づいた教えや歴史を経て築かれた信条など、それらを別々に捉えるのではなく、互に関係づけ調和のとれたものとしてまとめる知性と感性を磨くのもまた大事なことです。そうして培われた信仰が活き活きとされ、共に教会形成や伝道の働きに用いられていく者とされてまいりましょう。

小林祥人 教授 (旧約神学)

担当科目：旧約神学Ⅰ、
旧約釈義Ⅰ、ほか



旧約聖書は分厚くて重たい本なのに、イエスは登場しません。しかしだからといってイエスと無関係なわけではありません。それどころか、父なる神がイエスを地上に遣わすことになった、その事情が満載です。その事情について、大部な書物の中から少しずつ辿ってみたいと考えています。

水谷 勤 教授 (新約神学)

担当科目：新約概論、
新約神学Ⅰ、ほか



信仰歴の長さに関わらず、聖書への問いは尽きません。それは信仰自らが知解を求めるからだと言われていきます。共に聖書を学ぶ中で、こういうことを学びたかったのだと思える時が必ずあります。私たちは、その喜びを共にすることを幸いに思います。教会を愛する皆さん、神様の呼びかけに応えさらに一歩踏み出してみませんか？

菅原裕治 教授 (新約神学)

担当科目：ギリシア語、
新約学ゼミ、ほか



新約聖書を読む時、いつでも大きな信仰的・知的発見があります。そして、歩むべき方向が示されます。それは、信仰者にとって大きな喜びです。その喜びを深め、また誰かと共にするために、神学校で、新約聖書のギリシア語、概論、時代史、神学、釈義、解釈を学び、共に祈り、意見を交わしましょう。

柳下明子 教授 (歴史神学)

担当科目：キリスト教史
Ⅰ・Ⅱ、ほか



過去に起こった出来事をつなぐ意図を見つけ、今の自分の立ち位置を知り、未来につなげてゆくことが歴史を語ることです。明日の見えない時を生きるこそ、歴史的知見はわたしたちの歩む道を支えてくれるはずです。これからの教会の歩みを支えるものを、共に見つけられることを願っています。

カリキュラム

※記載している内容は2024年度のものであり、2025年度は変更になる場合があります。

分野	基礎学			神学				総合演習	その他 (全学年共通)
	聖書	神学	語学	聖書神学	歴史神学	組織神学	実践神学		
1年	ビーベルクンデ 新約概論 旧約概論 ギリシア語 新約時代史* 旧約時代史*	基礎文章理論 神学概論 キリスト教と文学*	英書講読 ドイツ語* ラテン語*		キリスト教史Ⅰ 日本キリスト教史特講*		キリスト教教育Ⅰ	総合演習Ⅰ 「聖書の読み方」	礼拝 フィールドワーク (教会実習等) 器楽
2年	ヘブル語Ⅰ		英書講読	新約神学Ⅰ 新約原典講読* 新約釈義Ⅰ 旧約神学Ⅰ 旧約釈義	キリスト教史Ⅱ 日本キリスト教史 日本宗教史	神学思想史Ⅰ 組織神学	説教 キリスト教教育Ⅱ	総合演習Ⅱ 「現場実習」	
3年				新約神学Ⅱ 新約釈義Ⅱ 旧約神学Ⅱ 旧約原典講読*	アジアキリスト教史 キリスト教教理史	神学思想史Ⅱ キリスト教倫理	宣教学 礼拝学 説教演習Ⅰ 牧会学 教会音楽	総合演習Ⅲ 「教会の職務と 実際」	
4年				新約学ゼミ* 旧約学ゼミ*	歴史神学ゼミ*	組織神学ゼミ*	実践神学ゼミ* 説教演習Ⅱ 牧会カウンセリング 精神医学特講	総合演習Ⅳ 「聖書から教会 を読む、教会から 聖書を読む」	
卒業論文(4年)									

*印は選択および選択必修科目

時間割

- 月～金に各2コマの授業と、月曜日・金曜日に全校礼拝があります。神学生が説教や司式等を担当します。
- 前期(4月～7月)・後期(9月～1月)の Semester 制となっています。
- 日曜日はそれぞれの実習教会において、実習教会牧師の指導のもとフィールドワークを行います。

日	月・金	火～木
実習教会での フィールド ワーク	【1限】(礼拝) 18:00～18:45	【1限】 18:15～19:45
	【2限】 18:50～20:20	【2限】 19:55～21:25
	【3限】 20:30～22:00	

総合演習(1～4年生)

「総合演習」は副題を「キリスト教信仰と人間の尊厳—神学と教会での実践をつなぐために」として、4年間を通して、聖書と社会と教会での経験をつなげることを目的としています。1年次の総合演習Ⅰ「聖書の読み方」では聖書の中でその「差別的な表現」が問題な箇所や、その思想が現代の人権感覚では問題になる箇所を、どのように読み解くことができるかを試みます。2年次の総合演習Ⅱ「現場実習」で、神学生たちが各自の関心に従って教会が世に仕える場所で実践的な学びをします。3年次の総合演習Ⅲ「教会の職務と実際」は教会の意味と働きそしてそこにおける牧師の働きを学び、教会の実相がリアリティをもって感じられるようにします。4年次の総合演習Ⅳ「聖書から教会を読む、教会から聖書を読む」は現場に生きる教役者たちから教会の在り方、そこにかかわる牧会者の姿を学びます。



★ 聴講・オンライン聖書語学講座

教会に仕えるために学ぶ志を抱きつつ、正科生としてすぐ入学する諸条件が整わず、まずは1乃至数科目を受講をして可能性を探りたいという人のため、聴講生若干名を受け入れています。また、東京から離れた地域にある教会のニーズに応え、ギリシア語・ヘブライ語授業のオンライン受講を2023年度から始めています。

神学校の1年

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
入学・始業礼拝	学生自治会総会	創立記念の集い	前期試験	献身志願者の集い	夏期伝道実習	前期レポート提出	オープンキャンパス	全校修養会	クリスマス礼拝	新年始業礼拝	卒業論文発表会	後期レポート提出	卒業礼拝



全校修養会



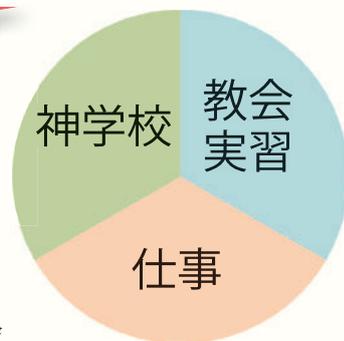
クリスマス礼拝



卒業礼拝

神学生の生活

昼間働き、
夜学ぶ神学校です。



教会実習

本校では、神学教育は教室における授業だけで完結されるものとは考えていません。将来、牧師の職務の現場（フィールド）となる教会に対する理解には、「実習教会」における「教会実習」が欠かせません。神学教育は教会の諸活動と密接に関わっているからです。そこで神学生の出席教会には、礼拝やCSはもちろん、教会の意思決定プロセス（役員会・長老会など）やその他牧師の様々な牧会実践も実習させていただけるようお願いしています。

学生自治会

学生自治会は、日本聖書神学校の創立精神に基づき会員の自治により信仰の錬磨、学術の研鑽に励み、将来伝道者となる資を高め、進んで校風の発揚に寄与するために、相互の団結、親睦、互助を図ることを目的に、組織されています（学生自治会会則より）。

新入生歓迎会や卒業生を送る会などのパーティーを催したり、学術講演会の企画、会報の発行、オープン・キャンパスの企画運営に加え、カリキュラム部では、神学生が将来伝道者となるためになにが有益なカリキュラムであるかなども、教授会と共に考えています。



学生寮

日本聖書神学校の学生寮は一人一部屋の個室ですので、一定のプライバシーが保たれながらも、共同生活を通して主体性、協調性、責任感などを身につける良い修練の場となっています。食事会やクリスマス会などの行事や早天祈祷会、寮会を行っており、寮生全員で協力し合って年間の計画を実施しています。

ほとんどの神学生が働きながら通う夜間の学校のため、体力的にも時間的にも厳しい環境で学ぶ神学生にとって、校舎に隣接する寮があるのはとても大切なことですし、励ましあう仲間とともに暮らすことは、とても心強いものです。

トイレ、浴室は各フロアに共同のものがあります。共同スペースは掃除当番を決めて、寮生が清掃を行います。また洗濯機・乾燥機・冷蔵庫も共用のものが備えられています。



在校生からのメッセージ

幸いな人！ 宋度栄（2年）

私は今年、57歳で、神学校2年の晩学中であるが、毎日が楽しい。とにかく楽しい。勿論、毎日が朝耕夜読の連続なので肉体的に疲れる場合もあるが、それが神学を学ぶ私のよろこびを妨害できない。丁寧すぎる講義に居眠りする時もある。心優しくて、熱情的に教えてくださる先生たちのお陰で、雀のようにしか聖書を見て来なかった私も、鷲のように高いところから、聖書の全体を鳥瞰できる夢を抱くようになった。非常に嬉しい。講義室だけではなく、週2回の礼拝を通して、実践的に学ぶ時間も大切である。

この世で一番幸せな人が誰なのかと聞かれたら、自分の根本を知る人だと答えたい。自分がどこから始まって、どこに帰するかを弁える人こそ、それに適した人生が営めると思っているからである。その人は福音を通して、この世の創造主である、イエス・キリストを自分の主として崇めている人であり、神の統治に聞き従って敬天愛人を実践して行く人であり、福音宣教の召命を強く自覚し、喜びを持ってその使命を果たして行く人に違いないと思う。「メメントモリ、メメントドミニ（自らの死を覚えよ、自らの主を覚えよ）」という言葉覚えつつ、神学のよろこびを共に味わいたい方、共に福音伝道に励んで行く信仰の友を待ち望みながら…



卒業生からのメッセージ

希望を伝えるための準備を

友野富美子（67期・深川教会）

教会の2階に住まい、礼拝堂で教会の方々やこの世界のことを祈り、聖書と格闘する。教会にお仕えする日々は思っていたとおりに中身が濃く、やることは満載で、そして恵みに満ちています。「教会の方々は、牧師は聖書の

のどの箇所からでもメッセージが語れると思っているからね」と授業で聴いてから10年以上が経ちました。なるほどそうかもしれない、これはたいへんだ、と遠くを見るような目になったことを覚えています。実際に教会でお仕えしている私がすべてのことに即座に答えられているかということ、そんなことはありません。ただ、その場で答えられないことがあっても「調べてきますね」と言えるように神学校で鍛えていただいたと思います。自分の考えではなく、キリストの教会が神さまの言葉をどう受け止め伝えて来たか。「あなたがたの抱いている希望について説明を要求する人には、いつでも弁明できるように備えていなさい」（Iペトロ3・15）。神学校はこの備えをするところです。

仕事に子育て（私もそうでした！）、それぞれの課題…。それでも召しを受け取ったなら、その学びは祝福されます。ひとりではできない学びを、仲間と支え合いながらしていく喜びを、ぜひ味わってください。



学びを支える

後援会

後援会活動とは？

後援会は、全国の教会、伝道所、信徒の皆さんからお捧げいただいた献金を日本聖書神学校に助成金としてお捧げしています。この助成金から神学生で経済的な支援を必要として居られる方に奨学金が拠出されています。後援会はこれからも後援会活動の輪を全国に広げて行き神学生が経済的な不安を持つことなく安心して学ぶことが出来るように、より確かな本当の意味での後援会になりたいと願っています。

後援会は神学生を奨学金という形でお支えしていますが、後援会自身は全国の教会そして教会に連なる多くの皆様のお支えによって成り立っています。後援会が日本聖書神学校に十分な貢献をするためには日本全国の教会、伝道所の皆様のさらなる御協力が不可欠です。どうぞ福音宣教のための伝道者を輩出する日本聖書神学校そして後援会の働きを憶えて、お祈りと共に今後とも日本聖書神学校の後援会をお支え下さい。

奨学金実績（2023年度）

JBTS 奨学金	11名
信濃町教会奨学金	1名
三崎町教会奨学金	1名
弓町本郷教会育英資金奨学金	1名
小林ミチエ奨学金	1名

合計 300万円

後援会会長からのメッセージ



後援会会長 菊池公平
(目白教会 信徒)

「誰を遣わすべきか」と主に問われた時、イザヤは「わたしがここにおります。わたしを遣わしてください」と応えました。主の召命に対して即座に毅然と応える大預言者イザヤに羨ましいほどの潔さと覚悟があったことが感じられます。私たちには神様の計画は計り知れません。ですから誰がいつどのような形で神の召命を受けるのかは分かりません。しかし神様は必ずそれぞれの方に最善の時を選んで招かれるということは信じています。主の召命は人によって違い現役の牧師に聞けば全員が異なる時に、異なる方法、アプローチで主からの召命を受けたことが判ると思います。イザヤのように神の招きを直ちに受け入れて伝道者の道に進まれた方も、主の召命を何度も感じながらも断り続けた後に牧師となった方も居られます。ですから献身の思いを持って居られる方への主の召命の呼びかけもそれぞれ異なると思います。それは「誰を遣わすべきか」だけではなく、「わたしは必ずあなたと共にいる」というような漠然とした呼びかけであったり「主がお入り用なのです」、「人間をとる漁師にしよう」、「起きて町に入れ、そうすれば、あなたの為すべきことが知らされる」というような具体的な招きの言葉であったり様々だと思います。献身の思いを持って居られる方が主の御声を聞き、聖霊の導きによって召命感を与えられ、神学校に入学して福音宣教の伝道者となってくださることを心から期待し、祈っています。神学校で学ぶことによってあなたの求めているもの、あなたに求められていることが必ず与えられるでしょう。どうぞ日本聖書神学校の門を叩いてください。必ずあなたの為すべきことが知らされるでしょう。

神学校へおいでください

※各行事の詳細は、ホームページ等を参照ください。

神学校日を覚えて祈る集い

ーオープンキャンパスー

日程：2024年10月16日（水）18:00-

テゼの歌を用いた黙想の集い

※詳細はホームページでご案内します。

神学校授業体験週間

神学校の授業を実際に体験できます。

神学校入学を考えている方は、ぜひご参加ください。

日程：2024年11月11日（月）～15日（金）18:00～22:00（火・水・木は18:15～21:25）

*体験希望の方は事前にお申し込み下さい

第14回 献身志願者の集い

神学校ってどんなところ、そこで学んでいる人はどんな思いでいるのだろう、ということに関心をお持ちの方は、この集いに参加されることをお勧めします。献身することの現実を感じることが出来るでしょう。

日程：2025年7月20日（日）～21日（月・休）

*参加希望の方は事前にお申し込み下さい
『信徒の友』にも案内を掲載します。

入学試験・募集要項

● 秋期入学試験

出願期間 2024年10月1日(火)～10月24日(木)

試験日 2024年11月8日(金)(午前・午後)

● 春期入学試験

出願期間 2025年1月6日(月)～1月31日(金)

試験日 2025年2月13日(木)～2月14日(金)

(13日は午前・午後、14日は午後)

● 受験資格

1. 大学卒業者またはそれと同等の学力を有すると本校において認められた者。
2. 受洗後2ヶ年以上の忠実な教会員であり、伝道の召命を受け、所属教会牧師と役員会の推薦するものであること。
* 日本基督教団以外の教派からの献身者も受験することができます。
* 最終学歴が大学卒業でない者にも「正科生に準じる者」として入学を許可する場合があります。
ただし、入学後、本校が必要と認める学科について所定の単位の修得が必要となります。

● 試験内容

1. 召命に関する短文(1,200字程度)
伝道者を志すに至った動機と、当神学校受験の事由を記述すること。
2. 筆記試験 旧約聖書、新約聖書、英語、小論文
3. 面接

● 出願関係書類(1,4は本校所定の書式による)

1. 願書
2. 最終学校の卒業証明書
3. 最終学校の成績証明書
4. 所属教会牧師・役員会の推薦状
5. 召命に関する短文
6. 受験料 20,000円

● 奨学金

日本聖書神学校には将来伝道者となるべく献身の志を堅持しながら、経済的な理由により就学困難な者を援助するための「伝道者奨学金」があります。これは諸教会や日本聖書神学校後援会が神学生のために拠出する奨学金で、卒業後に伝道者となって教会の働きに就いた者には返済が免除されます。

● 学 費

入学金	100,000円
授業料(年額)	264,000円
設備利用料(年額)	20,000円(1年次のみ)
入学金および授業料は分納が可能です。	

● 学生寮

20名程度入寮できます(入居状況によります)。家族寮もあります。
入寮費:1名22,000円 寮費:月額20,000円(光熱水費・寮会費別)

● 聴講生

出願資格:受洗後1年以上の忠実な教会員 定員:若干名 出願期間 2025年1月6日(月)～1月31日(金)

面接試験:2025年2月14日(金)午後

出願書類:願書、所属教会牧師の推薦書、受験料10,000円

授業料:30,000円(2単位)(通年科目(4単位)は60,000円) 入学金:10,000円 設備費:20,000円(初年度のみ)

● オンライン聖書語学受講生

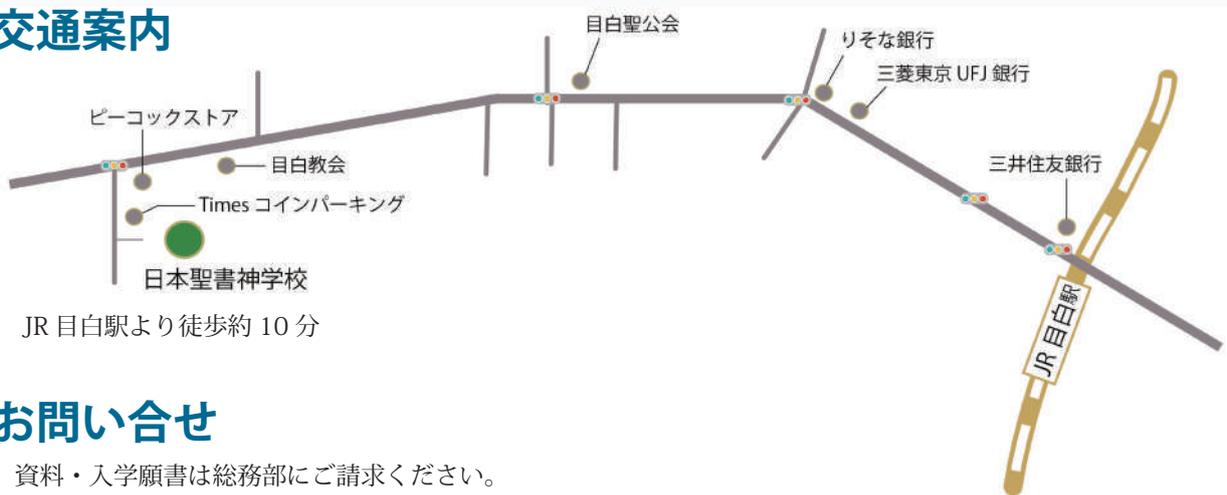
出願資格:受洗後1年以上の忠実な教会員 定員:3名 出願期間 2025年1月6日(月)～1月31日(金)

面接試験(オンラインまたは対面):2025年2月14日(金)午後

出願書類:願書、所属教会牧師の推薦書、受験料10,000円

授業料:60,000円(1科目4単位:通年) 入学金:10,000円

交通案内



JR目白駅より徒歩約10分

お問い合わせ

資料・入学願書は総務部にご請求ください。

〒161-0033 東京都新宿区下落合3-14-16

学校法人 聖經学園 日本聖書神学校

Tel: 03-3951-1101 Fax: 03-3951-3044

Eメール: jbts@jbts.ac.jp

ホームページ: <http://www.jbts.ac.jp/>